

令和6年10月8日

県内企業景況調査結果

(2024年7~9月期実績、2024年10~12月期見通し)

— 県内景況は、拡大している —

(前回) 県内景況は、拡大している

- 業況判断D.I.は「好転」超幅が拡大し、**10期連続のプラス**
来期は「好転」超幅が縮小の見通し (4ページ)
- 景況天気は9期連続の「晴れ」。来期も引き続き「晴れ」となる見通し (7ページ)

■主要D.I. (カッコ内は前回調査からの変動幅、単位：%ポイント)

(参考)

	業況判断D.I.	景況天気	売上D.I.	採算水準D.I.	資金繰りD.I.	雇用判断D.I.
当期 実績	22.0 (+9.5)	 晴れ 20.2 (+3.6)	23.9 (+12.0)	29.3 (▲3.1)	7.3 (+1.9)	57.3 (+0.9)
来期 見通し	16.9	 晴れ	14.3	32.2	1.3	56.1

[調査内容についてのお問い合わせ先]

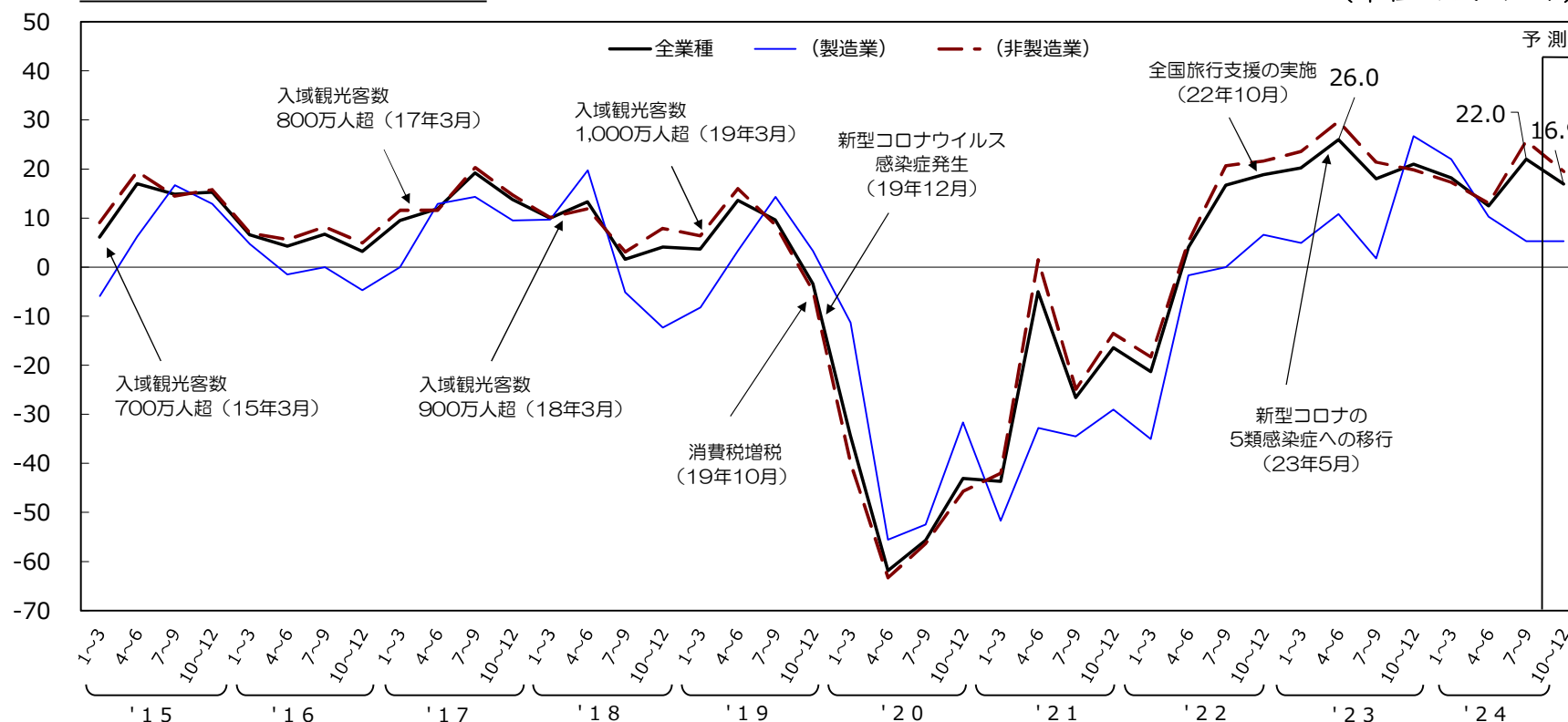
調査部 金融経済調査課(担当:松本) 沖縄県那覇市おもろまち1-2-26 電話:098-941-1725

調査結果の概要 (I)業況判断D.I.

- 実績(7~9月期):「好転」超幅が拡大し、**10期連続のプラス** [前期12.5%ポイント(以下、単位省略)⇒当期22.0]
→ 国内外の旅行需要を取り込んだ観光関連で高水準となったほか、個人消費、建設需要が堅調に推移しており、県内景況は拡大している
- 見通し(10~12月期):来期は「好転」超幅が縮小の見通し [来期16.9]
→ 人手不足、原材料高、人件費増の影響はあるも、県内景況は総じて拡大基調が続くとみられる

図表I 業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント)



(2)景況天気図(売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値)

- 実績：9期連続の「 晴れ」〔前期16.6⇒当期20.2〕

小売業、飲食店・宿泊業で「 (晴れ)」→「 (快晴)」、卸売業で引き続き「 (快晴)」
 製造業、運輸業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」、建設業で「 (晴れ)」→「 (薄曇り)」
 情報通信業で引き続き「 (薄曇り)」

- 見通し：引き続き「 晴れ」となる見通し〔来期15.9〕

建設業で「 (薄曇り)」→「 (晴れ)」、製造業、運輸業で引き続き「 (晴れ)」
 卸売業、小売業で「 (快晴)」→「 (晴れ)」、飲食店・宿泊業で「 (快晴)」→「 (薄曇り)」
 サービス業で「 (晴れ)」→「 (薄曇り)」、情報通信業で引き続き「 (薄曇り)」

図表2 全産業における景況天気図の推移

(単位:%ポイント)

区分 全産業	2023年			2024年				
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
景況天気図	 20.7	 17.7	 21.0	 18.1	 16.6	 (17.8)	 20.2	 15.9

 快晴 — 30以上～100以下
 曇り — △30以上～△5未満

 晴 — 10以上～30未満
 雨 — △100以上～△30未満

 薄曇り — △5以上～10未満

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

項目 業種	調査対象 企業数 (A)	回答数 (B)	回答率 (%) $\frac{(B)}{(A)} \times 100$
全産業(※1)	370	314	84.9
製造業	68	57	83.8
建設業	67	57	85.1
卸売業	49	44	89.8
小売業	47	34	72.3
運輸業	34	31	91.2
情報通信業(※2)	23	20	87.0
サービス業	46	40	87.0
飲食店・宿泊業	33	28	84.8

※1 全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

※2 情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し自計記入またはWEB調査システムからの回答を求める方法。

5. 調査対象期間

当期:2024年7~9月期実績

来期:2024年10~12月期見通し

6. 調査実施期間

2024年8月中旬~2024年9月上旬

(発送:2024年8月16日、回収基準日:2024年9月6日)

7. 用語説明等

- 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- D.I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD.I.を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

Ⅱ. 調査結果 Ⅰ. 業況判断

— 当期は「好転」超幅が拡大し、10期連続のプラス

来期は「好転」超幅が縮小の見通し —

- ・ 自社の業況を総合的に判断する当期の業況判断D.I. (全産業) は22.0と、10期連続のプラスとなった。
- ・ 高まる観光需要のもとで、飲食店・宿泊業を筆頭にほぼすべての業種で「好転」超となったほか、個人消費や建設需要が堅調に推移したことから、全産業ベースで「好転」超幅が拡大した。
- ・ 来期の業況判断D.I. は16.9と、「好転」超幅が縮小の見通しとなっている。

図表3 業況判断D.I. (前年同期比、「好転」－「悪化」企業割合)

(単位:%ポイント)

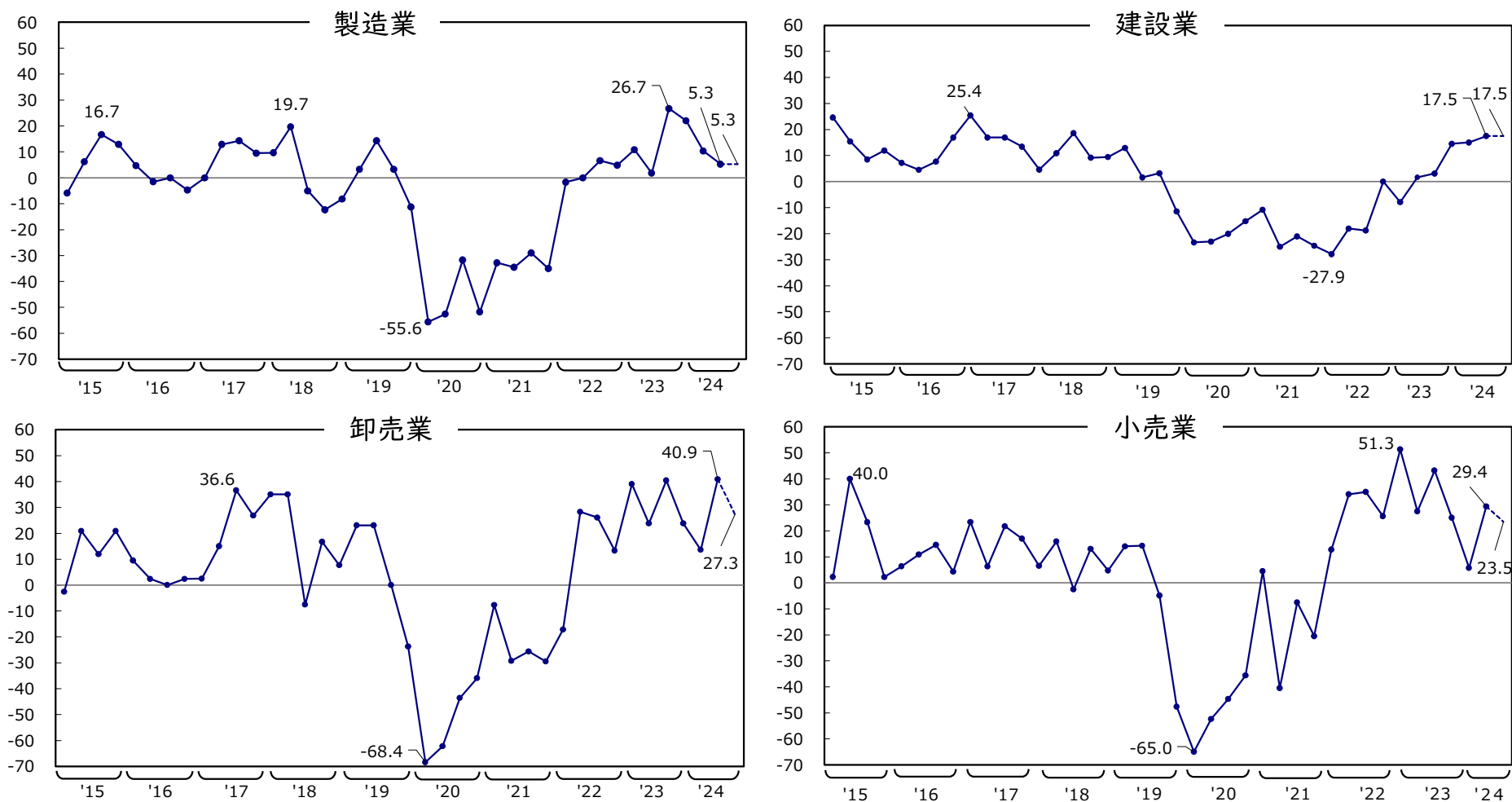
区分 業種		2023年			2024年				
		4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期 前回見通し	7～9月期 今回実績	10～12月期 今回見通し
全産業	D.I. (①－②)	26.0	18.0	21.0	18.2	12.5	(13.8)	22.0	16.9
	① 好転(%)	41.6	35.7	37.5	34.8	29.2	(27.6)	33.4	27.7
	不変(%)	42.8	46.6	46.0	48.6	54.2	(58.7)	55.1	61.5
	② 悪化(%)	15.6	17.7	16.5	16.6	16.7	(13.8)	11.5	10.8
	製造業	10.8	1.8	26.7	22.0	10.3	(5.2)	5.3	5.3
	建設業	△ 7.9	1.6	3.1	14.5	15.0	(10.0)	17.5	17.5
	卸売業	39.0	23.8	40.4	23.8	13.6	(20.5)	40.9	27.3
	小売業	51.3	27.5	43.2	25.0	5.7	(17.1)	29.4	23.5
	運輸業	43.8	28.1	19.4	9.4	33.3	(23.3)	22.6	22.6
	情報通信業(※)	△ 19.0	△ 5.3	△ 27.8	△ 5.3	△ 11.8	(△ 17.6)	0.0	20.0
	サービス業	37.2	24.4	17.5	19.5	5.1	(12.8)	15.0	7.5
	飲食店・宿泊業	81.5	63.0	28.6	24.0	23.1	(38.5)	53.6	21.4

※情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

- ・ 製造業では、食料品で円安の影響による原材料高やエネルギーコストの高騰などをうけて、収益確保に苦慮した先があり、全体の「好転」超幅がやや縮小した。
- ・ 卸売業・小売業では、価格転嫁の進展、国内外の来店客増加、前年の台風に伴う臨時休業の反動増などにより、飲食料品卸売業、百貨店・スーパー、観光土産品を中心に業況が好調で「好転」超幅が大幅に拡大した。

図表4-1 業種別の業況判断D.I.の推移

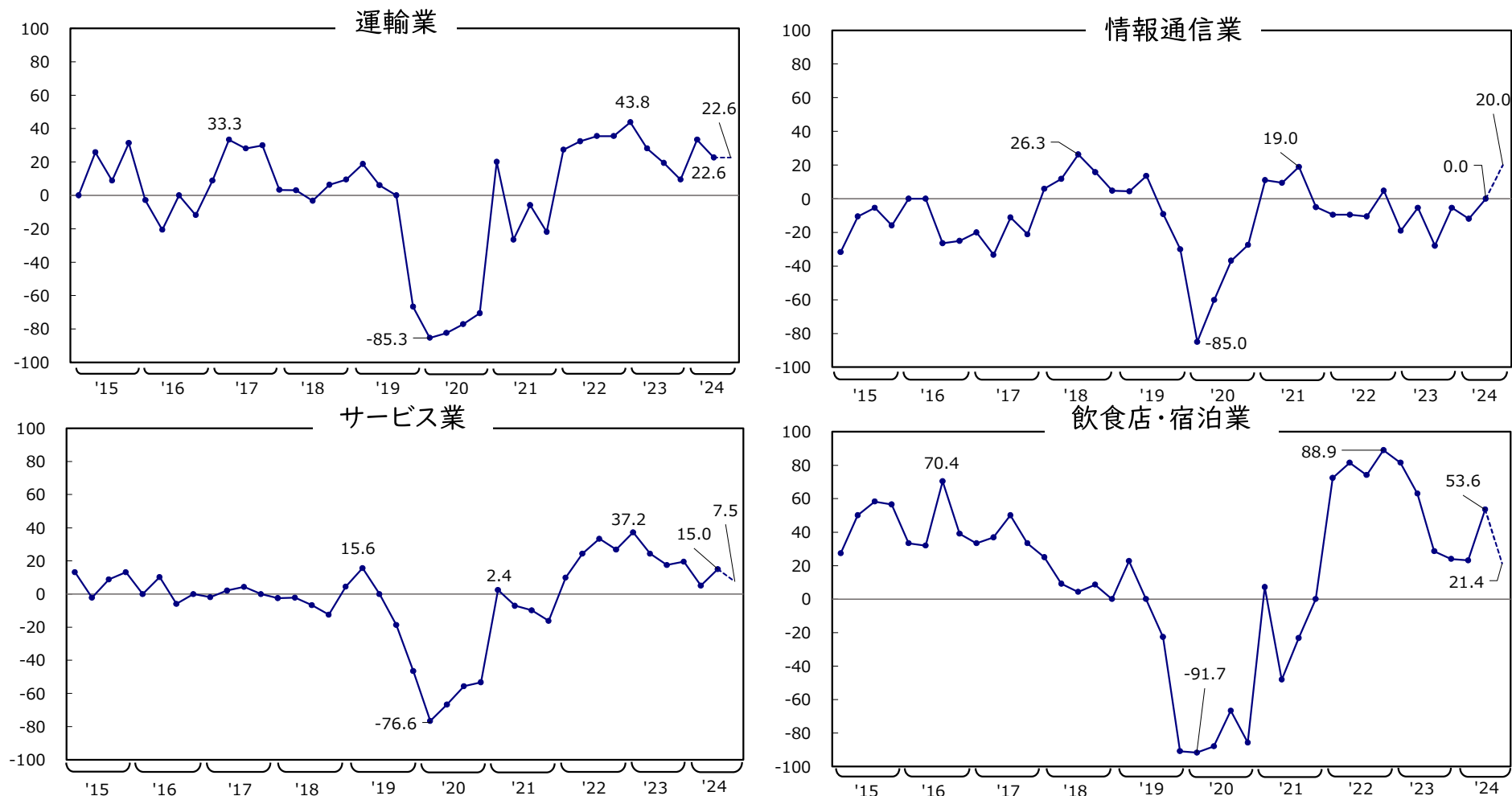
(単位:%ポイント、点線は見通し)



- 運輸業では、タクシーやバスを中心に旅客運送で「好転」回答がみられ、引き続き「好転」超となった。
- 情報通信業では、外国人観光客を対象としたサービスの需要回復などにより、「悪化」超から「保合い」となった。
- サービス業では、リース業やリネンサプライ業において「好転」回答が多くみられたため、「好転」超幅が拡大した。
- 飲食店・宿泊業では、国内客のほか外国客の利用も回復基調にあったことから、「好転」超幅が大幅に拡大した。

図表4-2 業種別の業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント、点線は見通し)



2. 景況天気

— 当期は9期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

- 当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、採算水準D.I. (32.4→29.3) で「黒字」超幅がやや縮小したものの、資金繰りD.I. (5.4→7.3) で「楽」超幅がほぼ横這い、売上D.I. (11.9→23.9) で「増加」超幅が大幅に拡大となったことから、景況天気(16.6→20.2)は9期連続の「晴れ」となった。
- 来期の見通しは、売上D.I. (14.3) で「増加」超幅が縮小、資金繰りD.I. (1.3) で「楽」超幅が縮小となるものの、採算水準D.I. (32.2) で「黒字」超幅がやや拡大することから、景況天気(15.9)は「晴れ」の見通し。

図表5-1 景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値) (単位:%ポイント)

業種	区分	2023年				2024年			
		4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業		20.7	17.7	21.0	18.1	16.6	(17.8)	20.2	15.9
製造業		8.2	8.3	25.0	26.0	19.5	(21.8)	18.1	12.9
建設業		2.6	2.7	6.3	9.1	11.1	(7.2)	8.2	11.1
卸売業		28.5	33.3	38.3	33.3	30.3	(25.8)	35.6	28.8
小売業		39.3	26.7	33.3	25.9	15.2	(24.8)	32.4	27.5
運輸業		31.3	25.0	24.7	18.8	24.4	(12.2)	22.6	26.9
情報通信業		△17.5	△22.8	△27.8	△21.1	△3.9	(0.0)	△5.0	3.3
サービス業		31.8	19.5	19.2	17.1	12.8	(12.0)	11.7	7.5
飲食店・宿泊業		50.6	50.6	32.1	14.7	12.8	(37.2)	39.3	6.0

	快晴	—	30以上～100以下
	晴	—	10以上～30未満
	薄曇り	—	△5以上～10未満
	曇り	—	△30以上～△5未満
	雨	—	△100以上～△30未満

図表5-2 全産業における主要3指標の推移

区分	2024年			
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	
	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業				
売上D.I.	11.9	(16.3)	23.9	14.3
採算水準D.I.	32.4	(34.3)	29.3	32.2
資金繰りD.I.	5.4	(2.9)	7.3	1.3

3. 売上

— 当期は「増加」超幅が大幅に拡大、来期は「増加」超幅が縮小の見通し —

- 当期の売上D.I.は、全産業で23.9と「増加」超幅が大幅に拡大した。
- 卸売業、小売業、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に拡大した。卸売業のうち飲食料品や建設資材、小売業のうち百貨店・スーパーや土産品、飲食店・宿泊業のうち観光客向け飲食店やリゾートホテルにおいて「増加」超回答が多くみられた。
- 来期は、全産業で14.3と「増加」超幅が縮小の見通しとなっている。

図表6 売上D.I.（前年同期比、「増加」－「減少」企業割合）

（単位：%ポイント）

区分 業種	2023年			2024年				
	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期		10～12月期
						前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	29.3	21.4	27.4	21.6	11.9	(16.3)	23.9	14.3
① 増加(%)	53.3	46.9	48.5	43.9	36.9	(34.0)	44.9	34.1
不変(%)	22.8	27.6	30.5	33.9	38.1	(48.4)	34.1	46.2
② 減少(%)	24.0	25.5	21.0	22.3	25.0	(17.6)	21.0	19.7
製造業	12.3	7.1	38.3	27.1	17.2	(19.0)	7.0	0.0
建設業	△ 12.7	△ 4.8	4.7	3.2	0.0	(△1.7)	5.3	0.0
卸売業	39.0	33.3	48.9	35.7	25.0	(20.5)	50.0	31.8
小売業	64.1	45.0	54.1	38.9	11.4	(17.1)	41.2	29.4
運輸業	46.9	31.3	25.8	21.9	30.0	(26.7)	35.5	32.3
情報通信業	△ 28.6	△ 21.1	△ 27.8	△ 36.8	△ 17.6	(0.0)	△ 5.0	5.0
サービス業	55.8	26.8	20.0	29.3	5.1	(12.8)	17.5	7.5
飲食店・宿泊業	85.2	66.7	39.3	40.0	19.2	(50.0)	57.1	21.4

4. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅がやや縮小、来期は「黒字」超幅がやや拡大する見通し —

- 当期の採算水準D.I.は全産業で29.3と「黒字」超幅がやや縮小したものの、情報通信業を除くすべての業種で「黒字」超となった。
- 来期は、全産業で32.2と「黒字」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表7 採算水準D.I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種	2023年			2024年				
	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 実績	4～6月期 前回実績	7～9月期 前回見通し	10～12月期 今回実績	10～12月期 今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	24.0	24.5	31.7	31.0	32.4	(34.3)	29.3	32.2
① 黒字(%)	43.7	42.9	46.6	47.0	46.2	(45.5)	46.2	43.6
トト(%)	36.5	38.8	38.4	37.0	40.1	(43.3)	36.9	44.9
② 赤字(%)	19.8	18.3	14.9	16.0	13.8	(11.2)	16.9	11.5
製 造 業	10.8	10.7	36.7	37.3	36.2	(39.7)	38.6	33.3
建 設 業	20.6	19.4	17.2	27.4	26.7	(25.0)	14.0	26.3
卸 売 業	48.8	69.0	66.0	61.9	56.8	(59.1)	56.8	59.1
小 売 業	41.0	25.0	37.8	30.6	34.3	(45.7)	41.2	44.1
運 輸 業	31.3	21.9	35.5	31.3	40.0	(10.0)	25.8	38.7
情報通信業	△ 14.3	△ 36.8	△ 38.9	0.0	5.9	(△11.8)	△ 25.0	0.0
サービス業	27.9	22.0	32.5	31.7	30.8	(28.2)	22.5	27.5
飲食店・宿泊業	11.1	44.4	25.0	△ 8.0	3.8	(50.0)	35.7	7.1

5. 資金繰り

— 当期は「楽」超幅がほぼ横這い、来期は「楽」超幅が縮小する見通し —

- 当期の資金繰りD.I.は、全産業で7.3と「楽」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期は、全産業で1.3と「楽」超幅がやや縮小する見通しとなっている。

図表8 資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」－「苦しい」企業割合)

(単位：％ポイント)

区分 業種	2023年			2024年				
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①－②)	8.7	7.1	4.0	1.6	5.4	(2.9)	7.3	1.3
① 楽 (%)	17.4	15.2	13.1	11.9	13.1	(10.6)	15.3	11.5
不変 (%)	74.0	76.7	77.7	77.7	79.2	(81.7)	76.8	78.3
② 苦しい (%)	8.7	8.1	9.1	10.3	7.7	(7.7)	8.0	10.2
製造業	1.5	7.1	0.0	13.6	5.2	(6.9)	8.8	5.3
建設業	0.0	△ 6.5	△ 3.1	△ 3.2	6.7	(△1.7)	5.3	7.0
卸売業	△ 2.4	△ 2.4	0.0	2.4	9.1	(△2.3)	0.0	△ 4.5
小売業	12.8	10.0	8.1	8.3	0.0	(11.4)	14.7	8.8
運輸業	15.6	21.9	12.9	3.1	3.3	(0.0)	6.5	9.7
情報通信業	△ 9.5	△ 10.5	△ 16.7	△ 26.3	0.0	(11.8)	15.0	5.0
サービス業	11.6	9.8	5.0	△ 9.8	2.6	(△5.1)	△ 5.0	△ 12.5
飲食店・宿泊業	55.6	40.7	32.1	12.0	15.4	(11.5)	25.0	△ 10.7

6. 借入難易

— 当期は「容易」超幅がやや拡大、来期は「容易」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 当期の民間金融機関からの借入難易D.I.は、全産業で7.0と「容易」超幅がやや拡大となった。
- 来期は、全産業で7.3と「容易」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表9 借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種	2023年			2024年				
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期		10~12月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①-②)	2.7	6.2	3.0	4.4	3.5	(3.5)	7.0	7.3
① 容易(%)	4.8	8.7	5.5	6.9	5.8	(5.8)	7.3	8.0
不変(%)	93.1	88.8	92.1	90.6	92.0	(92.0)	92.4	91.4
② 困難(%)	2.1	2.5	2.4	2.5	2.2	(2.2)	0.3	0.6
製造業	△ 1.5	7.1	3.3	6.8	5.2	(3.4)	10.5	10.5
建設業	3.2	3.2	3.1	4.8	5.0	(5.0)	5.3	7.0
卸売業	2.4	7.1	2.1	7.1	4.5	(4.5)	4.5	4.5
小売業	2.6	5.0	0.0	11.1	2.9	(5.7)	8.8	5.9
運輸業	0.0	9.4	6.5	△ 6.3	0.0	(0.0)	0.0	3.2
情報通信業	4.8	△ 5.3	5.6	0.0	0.0	(0.0)	5.0	5.0
サービス業	9.3	9.8	2.5	0.0	2.6	(2.6)	10.0	10.0
飲食店・宿泊業	3.7	11.1	3.6	8.0	3.8	(3.8)	10.7	10.7

Ⅲ. 参考 販売数量、販売価格

参考1. 販売数量 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- ・ 当期は15.6と「減少」超から「増加」超へ転じた。来期は8.9と「増加」超幅が縮小する見通しとなっている。

図表10 販売数量D.I. (前年同期比、「増加」－「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2023年			2024年				
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	11.0	5.8	23.6	10.2	△ 7.3	(△4.4)	15.6	8.9
① 増加(%)	41.4	38.4	44.4	36.5	25.5	(23.4)	38.5	29.6
不変(%)	28.3	29.0	34.0	37.2	41.6	(48.9)	38.5	49.6
② 減少(%)	30.3	32.6	20.8	26.3	32.8	(27.7)	23.0	20.7

参考2. 販売価格 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- ・ 当期は48.9と「上昇」超幅がやや縮小した。来期は51.9と「上昇」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

図表11 販売価格D.I. (前年同期比、「上昇」－「下降」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種 区分	2023年			2024年				
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	64.8	71.7	63.2	49.6	52.6	(54.0)	48.9	51.9
① 上昇(%)	69.0	73.9	67.4	55.5	56.9	(56.9)	54.8	57.0
不変(%)	26.9	23.9	27.8	38.7	38.7	(40.1)	39.3	37.8
② 下降(%)	4.1	2.2	4.2	5.8	4.4	(2.9)	5.9	5.2

在庫水準、雇用判断

参考3. 在庫水準 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期末は△6.7と、前期末と比べて「過剰」超幅がやや拡大した。

図表12 在庫水準D.I. (当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合) (単位:%ポイント)

区分 業種		2023年			2024年		
		6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末	9月期末
全産業D.I. (①－②)		△ 2.1	1.4	△ 6.3	△ 0.7	△ 2.9	△ 6.7
	① 不足(%)	6.9	10.1	4.9	9.5	7.3	4.4
	適正(%)	84.1	81.2	83.3	80.3	82.5	84.4
	② 過剰(%)	9.0	8.7	11.1	10.2	10.2	11.1

参考4. 雇用判断

- 当期の雇用判断D.I.は、全産業で57.3と「不足」超幅がほぼ横這いとなった。
- 来期は、全産業で56.1と「不足」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表13 雇用判断D.I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合) (単位:%ポイント)

区分 業種		2023年			2024年				
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期		10～12月期
		実績	実績	実績		実績	前回実績	前回見通し	今回実績
全産業	D.I (①—②)	48.8	50.3	54.9	58.9	56.4	(55.8)	57.3	56.1
	① 不足(%)	50.6	51.9	56.4	60.2	57.7	(56.7)	58.9	57.0
	適正(%)	47.6	46.6	42.1	38.6	41.0	(42.3)	39.5	42.0
	② 過剰(%)	1.8	1.6	1.5	1.3	1.3	(1.0)	1.6	1.0

経営上の問題点

参考5. 経営上の問題点

- 経営上の問題点としては、3期連続「求人難」の割合が最も高く、続いて「原材料高」、「人件費の増加」の順となった。
- 業種別にみると、建設業、卸売業、小売業、運輸業において、「求人難」と回答した割合が最も高かった。

